

平成29年度総会の報告！

平成29年5月17日、高鷲文化財保護協会の総会が、島野一郎高鷲振興事務所課長とたかす町民センター職員の日置英彦氏を迎え、町民センター研修室で行われた。出席者は33名で、総会は、会長の挨拶から始まり、次いで島野課長、日置文化財担当、及び会員である山市議員からご祝辞を賜り、協議題に入った。

協議事項は下記のとおりです。

(1) 平成28年度事業報告、決算報告・・・・原案通り可決 事業報告

- ・役員会：4/15、8/5、12/13、3/3
- ・たかす開拓記念館開館セレモニー：5/24
- ・奉仕作業（開拓記念館清掃）：4/5、4/8、4/21、6/20、3/28
- ・奉仕作業(分水嶺公園、ひるがの観光協会協力)：7/7
- ・県外研修（宿泊研修旅行：奈良方面）：10/1~2
- ・ギフチョウ保護巡回：5月～6月
- ・開拓記念館取材と案内
- ・市主催:県外研修：10/5
- ・市内文化財巡り：明宝地区 10/13
- ・会報「高鷲の文化財」発行：第22、23、24、25号
- ・標柱立て替え：3/31
- ・『続追憶 琿春高鷲開拓』発行：8月
- ・『語り部たち』発行：4月

決算報告

収入：682,299円

支出：677,231円

残高：5,068円（29年度繰り越し）中屋監事より監査報告。

(2) たかす開拓記念館について

- ・12月14日、郡上市教育長及び高鷲振興事務所長に対し「開拓記念館陳情書」を提出
- ・その結果、たかす開拓記念館は郡上市内の他の博物館と同じ扱いとなり、土日曜日は開館し、月曜日を休館日となる。

(3) 平成29年度事業計画及び予算案・・・・原案通り可決 事業計画

- ・ギフチョウ保護巡回：5/26~6/15
- ・奉仕作業（民具の清掃作業、奥の宮整備作業）：5/17(午後1時~)
- ・県外宿泊研修（京都方面）：11/1~11/2
- ・市内文化財巡り：
- ・役員会:4/12、3月予定
- ・総会：5/17(午前10時~)

(4) 予算・・・・原案通り可決

収入：161,068円

支出：161,068円

(5) 高鷲文化財保護協会創立 25 周年記念事業について

- ・「創立 25 周年記念誌」を今年度中に作成し、来年度総会時に発行する。
- ・ 麦島顧問、山田顧問に来年度の記念総会時に感謝状を渡す。

(6) 平成 29 年度研修旅行について

原案通り、11 月 10 日、11 日京都方面に 1 泊 2 日で研修旅行を行う。募集人数は 20 名以上とする。

総会終了後、「たかす開拓記念館と環春高鷲開拓団」について馬淵旻修会長から講話があった。

12 時 00 分に閉会した。

午後は平成 29 年度奉仕作業を行った。

市史跡 奥の宮 清掃奉仕作業

5 月 17 日(水)総会と講話の後、毎年恒例の高鷲文化財保護協会の奉仕作業を大洞の「奥の宮」で行った。参加者は 18 名で、除草や清掃活動後、山田幸男顧問から「奥の宮」についての講話を聴き、午後 2 時 30 分に終了した。

鮎立白山神社の「奥の宮」は、元正天皇の時代の養老年中に泰澄大師が白山開踏の際、この所を霊場として宮を建立したと伝えられる。内宮(奥の宮)、外宮(口の宮)七堂伽藍が有り神仏両方の社僧と別当、神主を置き、社務所があった。東前谷、鮎走り、正ヶ洞、中切、穴洞の五か村の氏神として 8 月 18 日(旧暦?)を例祭としていた。一時は繁栄を極めたが、永禄年間に社殿を焼失し、明治 41 年には堂ヶ洞白山神社(口の宮)に合祀された。なお、由緒書には養老元年(717)、神社を創建したとある。また社塔の石積みは「ししぼたん積み」と言われる貴重な石積みである。(高鷲の文化財 73 頁より)



市史跡 奥の宮



会員の奉仕作業風景



奥の宮について講話する山田幸男氏

皆さん 奉仕作業ご苦労さまでした。